

議会 報告会

MATSUMOTO CITY
COUNCIL REPORT

MATSUMOTO CITY COUNCIL | 2026.06.25

令和 8 年 6 月 定例会

新庁舎の 議会施設について 一緒に考えよう

あなたの声を、新しい議会施設へ。

令和8年6月25日（木）本会議終了後 | 松本市役所東庁舎3階 議場
主催：松本市議会 交流部会

市民の皆さんの声を聴き、 新庁舎の議会施設に反映していきます

議会施設についても、これから**基本設計・実施設計**として
具体化していく段階に入りました。

STEP 01

これまでの
検討経過をご報告

STEP 02

5つの論点を
ご紹介

STEP 03

皆さんとの
意見交換

02 これまでの検討経過

平成29年から議会運営委員会で議論を積み重ね、市民とともに議会の権能を発揮できる庁舎づくりを進めてきました。



H29.11.27 | 議会運営委員会

議会施設の基本的な考え方を決定 — 「市民とともに議会権能を十分に発揮できるもの」



R元.7.12 | 議会運営委員会

基本計画に記載する議会施設の内容を決定（適切な配置・誰でも傍聴しやすい議場・ICT化・多目的利用）



R2.2 | 基本計画策定

「コミュニケーションが芽生える庁舎」の中に議会施設の考え方を反映



R7.11.26 | 特別委員会

新庁舎建設基本計画改定版を策定（議会施設の内容については改定なし）



R8.4.20～ | 市長依頼・議会運営委員会

市長から議長への意見聴取依頼を受け、基本設計に向けた市民意見の集約を開始 — **本報告会はその一環です**

平成29年11月27日 議会運営委員会で集約 / 新庁舎建設基本構想 p.6 に反映



市民の代表である市議会が、
市民とともに議会の権能を
十分に発揮できる庁舎

この考え方を、基本計画では次の4つの方向性として具体化しています

01

議会施設の
適切な配置

02

誰でも傍聴
しやすい議場

03

ICT化と
環境の充実

04

議会施設の
多目的利用

令和元年7月12日 議会運営委員会で集約／新庁舎建設基本計画改定版 p.28 に反映

01 議会施設の 適切な配置

一定の独立性を確保することを前提とした上で、効率性、セキュリティ、傍聴者の利用のしやすさなどを考慮し、**行政と一体的に機能する集約された配置**とします。

02 誰でも傍聴 しやすい議場

議員・職員・傍聴者の動線を区分し、討議がしやすく傍聴者が聞きやすい形式とします。
傍聴席の充実・**車いす利用者への配慮**・**子ども連れ用のモニター付き別室**など、市民と議会の距離をより近づける工夫を検討します。

03 ICT化と 環境の充実

議会活動におけるICTの活用を踏まえ、**高度な情報通信環境や視聴覚機能**を整備するとともに、委員会室・議員控室・図書室など諸室の環境の充実を図ります。

04 議会施設の 多目的利用

議会施設は、**市民利用の可能性**などを視野に入れ、多目的利用についても議会活動を妨げない範囲で対応ができるよう整備します。

基本計画で示した4つの方向性から、 市民に係わりの深い5つの論点を取り上げます

論点 01

傍聴しやすさ

動線・広さ・段差
音響設備・空調 など

→ 問3・問4

論点 02

バリアフリー

車いす専用席の増設
視覚・聴覚への配慮 など

→ 問5・問6

論点 03

子育て世代 への配慮

傍聴者用の託児
子連れ専用室・授乳室

→ 問7・問8

論点 04

ICT化

電子採決・AI反訳
委員会の録画配信 など

→ 問9

論点 05

議場等の 多目的利用

高校生との交流事業
記念行事・授業 など

→ 問10

※ 各論点は、お手元の意見提出用紙の設問に対応しています。

もっと多くの市民が、 気軽に 議会を傍聴できる空間へ

基本計画の考え方

議員・職員・傍聴者それぞれの動線を区分するとともに、討議がしやすく、傍聴者が聞きやすい形式とし、必要な設備を整備します。

検討の視点（例）

- ・傍聴スペースの広さ・高さ（段差）
- ・傍聴者の動線のわかりやすさ
- ・音響設備、空調環境の改善
- ・議員と市民の視線・距離感

Q

皆さんへの問いかけ

新庁舎の議会施設を 傍聴しやすいもの とするためには、
どのようなことに配慮が必要だと思いますか？

誰もが安心して訪れられる、 分け隔てのない議会施設へ

基本計画の考え方

傍聴席の充実とともに、車いす利用者の傍聴への配慮を進め、市民と議会の距離をより近づける工夫を検討します。

検討の視点（例）

- ・車いす専用席の増設・配置の工夫
- ・視覚障がい者の方への音声・点字案内
- ・聴覚障がい者の方への手話・字幕表示
- ・段差解消、エレベーター動線の整備

Q

皆さんへの問いかけ

新庁舎の議会施設のバリアフリー化として、
特に必要なことはどのようなことだと思いますか？

子ども連れでも気兼ねなく、 議会に足を運べる環境へ

基本計画の考え方

子ども連れでも安心して傍聴できるモニター付きの別室など、市民と議会の距離をより近づける工夫を検討します。

検討の視点（例）

- ・ 傍聴者用の託児サービス
- ・ 親子で傍聴できる子連れ専用室
- ・ 授乳室・おむつ替えスペースの整備
- ・ モニター付き別室での中継視聴

Q

皆さんへの問いかけ

子育て世代でも傍聴しやすくするために、
新庁舎の議会施設に特に必要なものは何だと思いますか？

技術の力で、議会を「見える化」「分かる化」へ

① 電子採決

議員一人ひとりの表決結果が一目でわかる仕組み。
賛否を電子的に表示し、市民が議員の判断を確認しやすくなります。

② AI 自動反訳

議員の発言をリアルタイムで文字起こし。
聴覚障がいの方も、議論をその場で文字で追える環境を実現します。

③ 委員会の録画配信

本会議に加え委員会も配信。
お住まいや時間を問わず、後からでも審議の様子を確認できるようにします。
※現在は本会議及び一部の特別委員会のみ実施



皆さんへの問いかけ

市民と議会との距離をより近づけるため、
議会施設の ICT 化 として、どのようなことが必要だと思いますか？

議会の会議以外でも、 市民に開かれた施設にできないか

基本計画の考え方

議会施設は、**市民利用の可能性**などを視野に入れ、多目的利用についても議会活動を妨げない範囲で対応できるよう整備します。

過去・他市の利用例

- ・高校生との交流事業／高校生会議
- ・中学社会科の授業（模擬議会）
- ・市の記念行事の会場
- ・議場コンサート など



皆さんへの問いかけ

多目的利用は有効だと思いますか？

具体的にどのような利用方法が考えられますか？

皆さんの声を踏まえ、議会としての考え方をまとめていきます

R8.5月～6月

市民意見の聴取・
意見交換

- ・意見提出用紙
- ・L o G o フォーム
- ・本日の意見交換

R8.7月

他市議会の
行政視察

- ・府中市議会
- ・越谷市議会 など
- 先進事例を視察

R8.8月以降

議会運営委員会
での論点検討

市民意見と
視察結果を踏まえ
議論を深める

取りまとめ後

議会の考え方を
市長部局へ

議会としての
意見・要望を伝え
設計に反映を依頼

いま、皆さんの声が一番大切な時期です。

ぜひ、このあとの意見交換でお聞かせください。

お聞かせ
ください。

YOUR VOICE BUILDS
OUR ASSEMBLY HALL

MATSUMOTO CITY COUNCIL | DISCUSSION TIME

ここから、
皆さんとの
意見交換です

傍聴された感想、ご質問、ご提案、
何でも結構です。
皆さんのお考えをお聞かせください。